

山ごころ

大滝せせらぎ

吉本隊員

里ごころ

はたおと秩父

南隊員

秩父市

地域おこし

協力隊をより

コスモス 美麗・調和

誠実従順  
キキョウ



ナゲシユ

純愛・思慕



情熱・再会

キツネノカミソリ

No.10



大滝せせらぎ

通信

第10号

秩父市 地域おこし協力隊  
吉本 隆久

荒川ふれあい教室

8月7日、こまどり荘にて荒川ふれあい教室が行われ、東京から来てくれた児童達が水遊びやスイカ割りを楽しみました。また大滝小からも3人が参加し、都会の児童達と仲良く遊んでいました。午後には滝沢サイクルパークへ行き、高山選手の迫力あるライディングを見学しました。参加した児童達は荒川の源流に触れることで、水のいとおしさや大切さを感じることができたのかなと思います。

来年度大滝小が統合するため、今回の荒川ふれあい教室は児童や職員にとっても感慨深いものとなりました。今回無邪気に遊ぶ児童達を見て、今後こういった交流がより活発になるような取り組みを行いたいと思いました。

韓国大使館職員来訪

8月9日、韓国大使館の職員の方や、地域政策が専門の方が訪れ、意見交換会が行われました。韓国の方々は秩父や大滝での過疎対策について熱心に聞かれています。また地域おこし協力隊についても大変関心があるようでした。

意見交換会の後に栃本集落を案内したところ、こんな集落は初めて見た、とても素晴らしい景色だと敬慕していました。韓国の山村では川沿いには集落があるが、急勾配な山腹には無いそうです。改めて栃本集落をはじめとした大滝地域の特異性に気づくことができました。

9月の元気アップ講座日程

- 9月5日 麻生・寺井
- 9月9日 栃本・川又
- 9月25日 落合・三十槌
- 9月27日 鶴平・小笠原

ヒガヒバナ





# 森林インストラクター養成講習

8月10日から17日の8日間、森林インストラクター養成講習に参加し、森林に関する様々なことを学びました。森林インストラクターとは「森林に関する知識を有し、一般の方に森林の魅力や魅力を伝えることのできる者」に与えられる資格のことです。そのため動植物の知識や生態系の知識、林業の知識、森林での安全に関する知識そしてそれらを分かり易く、楽しく伝えるための知識などが必要で、8日間みっちり講義を受けました。インストラクターになるためにはさらに試験に合格しなければなりません。無事合格し、資格を頂いたら、大滝を訪ねてくれた方に大滝の魅力あふれる森林を案内したいです。

## 農作物鳥獣害防止指導者育成研修

8月21日と28日、農作物鳥獣害防止指導者育成研修に参加し、鳥獣被害の現状や最新の対策方法などを学びました。被害防止に一番

大切なことは「餌」を与えないこと、隠れ場所を作らないことだそうです。大滝では「餌」を積極的に与えることはしていませんが、収穫されたなくなった果実や野菜が多くあり、それが獣を誘き寄せてしまい、畑の野菜にも被害が及んでいいると考えられます。また管理できなくなった畑にカヤが茂り、それが隠れ場所となり、獣が集落内に寝泊まりできるようになってしまっています。

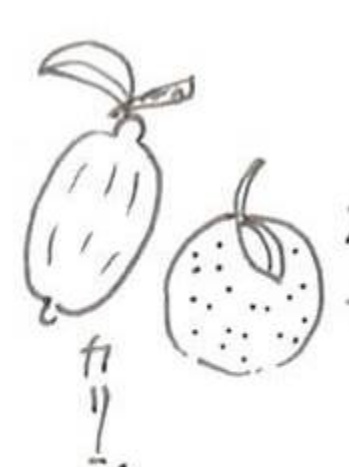
不要な果実や野菜の収穫や、カヤの除草は非常に骨が折れる作業で、簡単にはできないことだと思います。しかし鳥獣被害を減らすためにも、また大滝の美しい景観を守るためにも必要なことです。

私も研修で得た知識を活用し精一杯協力していきたいと考えています。よろしくお願いたします。

栗や柚子等収穫代行。  
お手伝い、します(無料)



栗

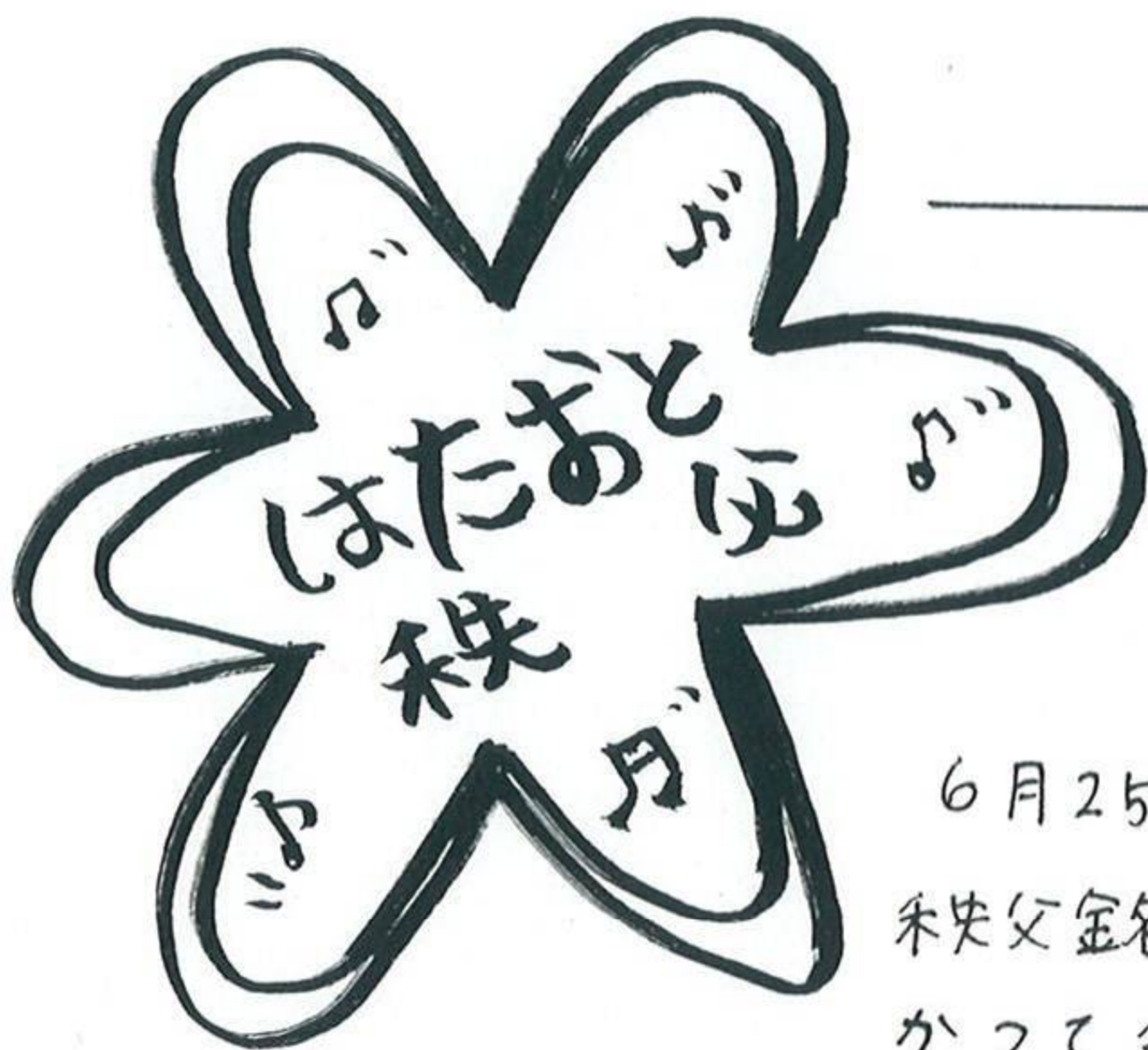


柚子



栗





# 秩父銘仙型染め 出前授業



6月25日(火)、秩父市立影森小学校6年生を対象に、秩父銘仙型染め出前授業をさせていただきました。かつて秩父地域を支えた大きな産業であった

“秩父銘仙”について、歴史や技術の紹介やスライドを使った秩父銘仙工程の説明をして秩父銘仙着物を展示し、特徴的なほぐし模様や、玉虫模様など、実際に見ていただきました。影森小学校での出前授業は、今年で2回目でしたが、今回、6年生児童の皆さんに、5月下旬ごろから、埼玉県グランドまゆであり、秩父地域限定生産されている「いろどり」という品種の蚕を育てていただきました。出前授業の中では、育てたまゆから糸を引き出す実演も行いました。型染め体馬宛では、オリジナル巾着を作ったりこの授業を通して、自分達が住んでいる町の伝統文化を理解し、また秩父銘仙に興味を持っていただければと思います!

## NHK あまちゃん



8月31日土曜日、NHK朝の連続テレビ小説



“あまちゃん”にて、最後の写真コーナー「またまたあまちゃんですが…」に活動写真を掲載していただきました。あまちゃんドラマも佳境に入り、視聴者の方から沢山の声かけいただき活動の源になりました。どうもありがとうございます。

毎月第2土曜日、ちちぶ銘仙館ではすべての設備が稼働し、まゆから糸になるまでの工程をご覧ください。

お気軽に足を運ばれてみてはいかがでしょうか?



作成：秩父市地域おこし  
協力隊、南

お問い合わせ先：  
秩父市産業観光部  
商工課内

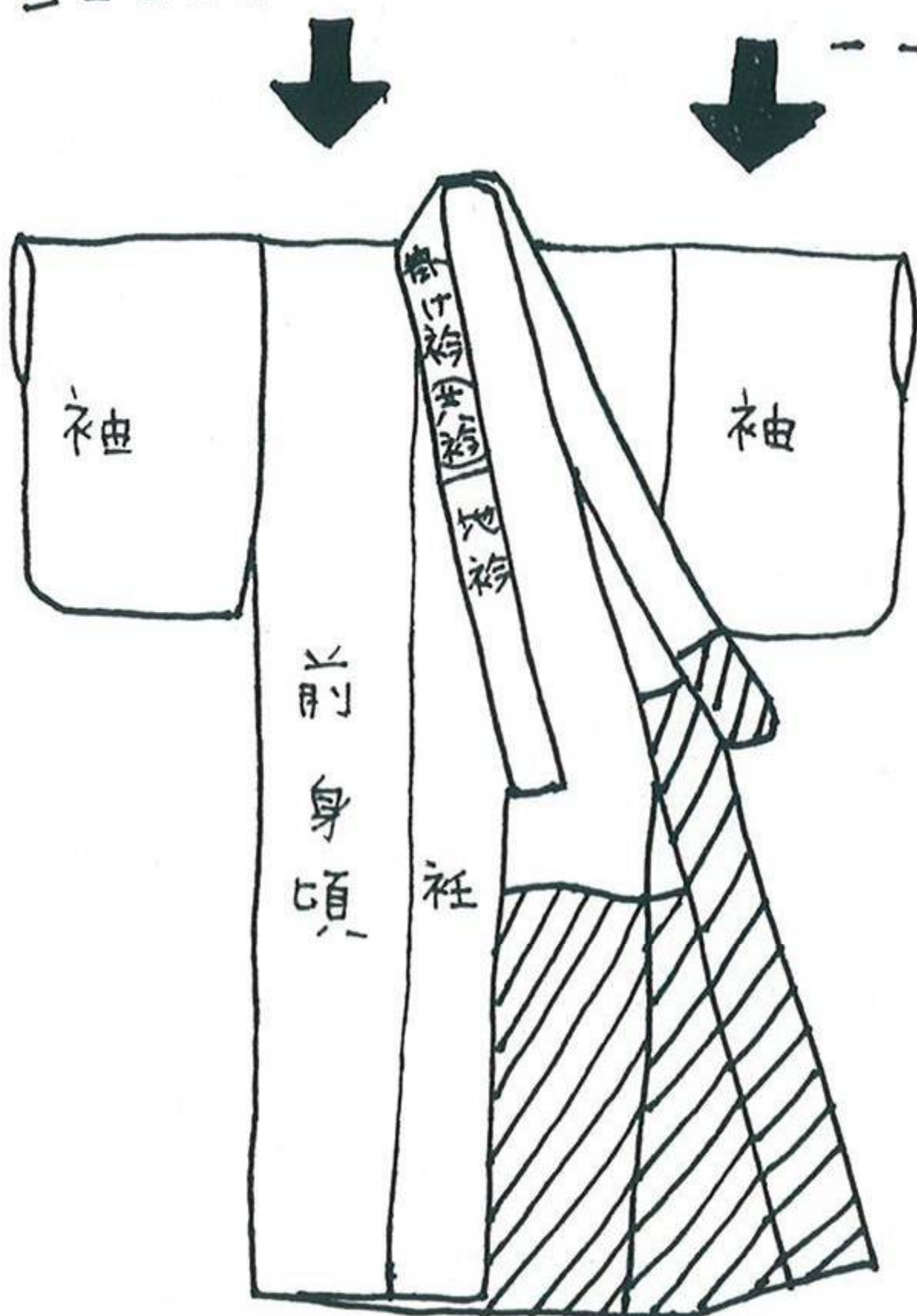
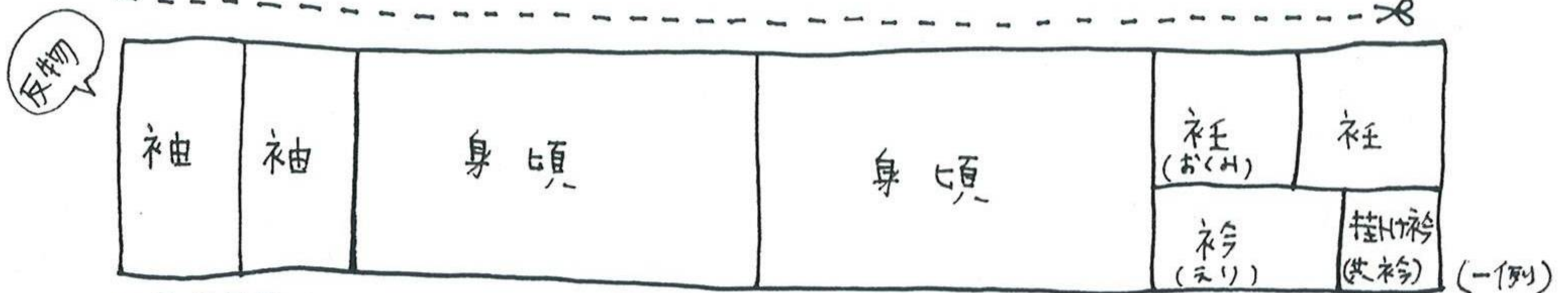
TEL: 0494-25-5208



# 秩父銘仙が出来るまで

## ～完成～ 仕立て その12

前回 その11 で仕上げた反物を着物の形に仕立て、秩父銘仙着物の完成です!!



一枚の布を裁ち...

縫い合おせて作ります。

袖、身頃、衤<sup>(おひ)</sup>、衤<sup>(えり)</sup>などで構成されており、ほどけばまた一枚の布になります。

秩父銘仙は、リバーシブルなので、表が色あせたら、洗って張り替えてお針直しをして、裏表逆にして着れるんです!!

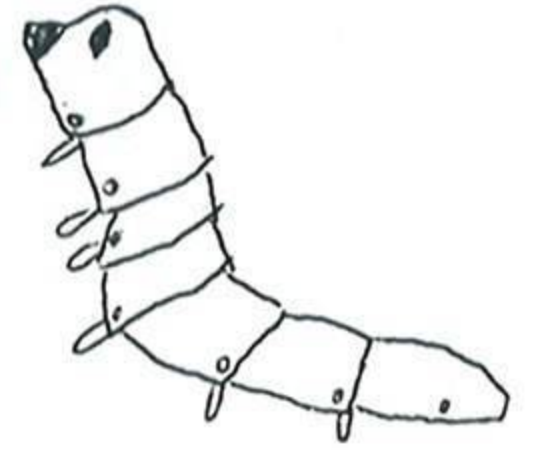
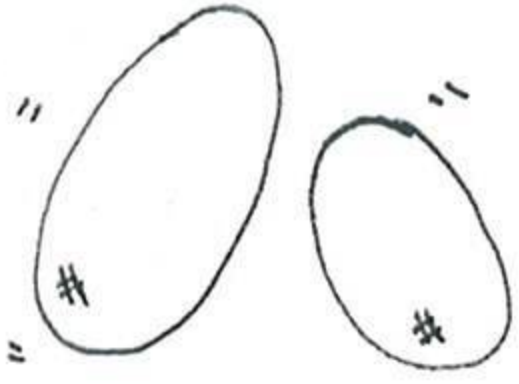
秩父銘仙着物を着古すと、昔は、ねんねこやちゃんちせんこに直して大切に着ていたんだよ。



# !!完成!!



# ご縁コーナー



今回のご縁は養蚕農家「天の虫」、本タさんご夫婦。  
古くから養蚕が盛んに行われていたここ秩父で、現在  
若いご夫婦が養蚕を行っているという事で、お話を伺い  
てきました。

飯能から糸縁あって秩父へ移住され、当初は大きな広い  
家に住んでそこで火田をやって暮らしたいと思い、養蚕を行う事は  
全く考えていなかったと言う本タさんご夫婦。

養蚕を初めてやった時は右も左も分からなかったが、次第に  
楽しくなり生業としてやろうと思い、現在は吉田地域の山中で  
養蚕から機織りまでをしています。まだ養蚕では収入は得ら  
れていないが、野菜などは近所の方から頂いたり食費は殆ど  
かからず、沢山貰った時は干し物にしているそうです。

協カ隊の私達も実践してみたくなりました。養蚕道具や機織り  
道具も頂き物を使っているとの事でしたが、昔の古い道具を受け  
継いで大切に使用している所もまた素敵でした。

移住当時、家はお風呂やトイレは無いのも同然だったが、  
自分達で改装したそうです。家が山に囲まれているため夏は過ごしやすく、  
冬は1年中集めた薪をストーブに使い、犬一匹に猫二匹を飼って  
おりとても幸せそうでした。今後は養蚕に重点を置き、収入を得て  
その時には手伝いを入れたいとお話して下さいました。

養蚕農家軒数は、全国的  
にも激減してしまいましたが  
古くから日本を支えてきた養蚕業  
を、何千年と続く歴史ある数々の  
養蚕を担って頑張っている  
と思いました。

せいかくはできるか、足りない  
物もない…。とても幸せそう  
二人に出会い、私も幸せる気持ち  
になりました。

お二人のようなチャレンジする人が  
秩父にもっと増えよう、何かできねば  
と思いました!!

